

# まっけん

06年10月号

発行元：  
京都工芸繊維大学  
松ヶ崎はっけん実行委員会  
(代表：日向進 造形工学部長)

編集印刷：  
京都工芸繊維大学  
松ヶ崎はっけん実行委員会

問合せ先：  
e-mail:hello\_matsuga@rilt.org  
fax :020-4665-0404  
(造形：佐々木研究室)

2006/10/11 発行

## 活動報告

### ●9月14日 小学校にて、区役所探検のふり返り

総合学習のまとめとして、松ヶ崎にできる新区役所について『こんな区役所にしてほしい』という意見を出し合い、まとめました。

駄菓子屋、文房具屋を入れてほしいという子供ならではの意見から、公園、エレベーター、エスカレーターを設置など、快適性を求めた意見も出て、子供はよく見ているなと感心しました。

これらの意見は区役所に届けられ、新区役所の参考にされます。



### ●10月11日 大学に、小学生が訪問

造形工学科の課題で、新区役所について製図および模型を作りました。そして今回、松ヶ崎小学校の学生が、模型見学に大学を訪れました。

製作した学生の説明を聞きながら、小学生は興味深そうに模型を見たり、質問をしていました。大学について興味を持ってもらえたようです。



## メンバー募集

“小大連携プロジェクト”に参加したいという人を募集します。小学校と大学が一緒になって地域について考えていこうというものです。

下記の予定で進めていきます。自由に参加でき、自分のペースで関わることが出来ます。回生・学部は問いません。まずはこちらに、連絡してください。

e-mail:hello\_matsuga@rilt.org

Fax. :020-4665-0404

松ヶ崎学区の地域文化祭です。大学側としては、ピンホールカメラを地域の方に教え、写真を撮ってもらいます。科学と芸術の出会いで学んだ人、ぜひ参加を！

11月3日 松ヶ崎子供フェスティバル

11月24～26日 工織大松ヶ崎祭

この学祭で、松ヶ崎はっけん実行委員会は、ブースをひとつ設けます。活動紹介とともに、地域の方と交流するイベントを設ける予定です。その企画を考えてみたい、地域の方と交流してみたいという人、大募集です！

### ●編集後記

最近の子供と聞くと悪いイメージを持ちがちですが、松ヶ崎小学校の子供たちは素直でかわいい子ばかりでした。また、彼らの意見にはハッとさせられるものも多く、たいへん勉強になりました。これからの活動が楽しみです。

## 今回のガッテンは、松ヶ崎の秋祭りです！

### ●おいで祭り（10月1日）

東松ヶ崎の氏神さん（白雲稲荷神社）のお祭です。これは10月23日の新宮神社のお祭に神様をお迎えするために行われています。

赤飯を炊き、これをだんごにまるめて檜の葉にのせたもの22個を、かみのしき（ひのきで作った浅い重箱のようなもの）にのせ、若いお嫁さんが、頭の上にいただいてお供えに行きました。

西松ヶ崎の親類にも、「おいでやでー」と言って配ったそうです。

### ●氏神さんのしめなわうち

戦争の前、10月17日に収穫を感謝する「かなめ祭」という祭日がありました。松ヶ崎の村では、その日にお祭を迎える準備として、神社に飾るしめなわを作る「しめなわうち」が、宮座の人たちによって行われていました。今のしめなわうちは、祭りの前の日曜日に、各家から一名ずつ出て行われます。

作り上げたしめなわに「ごへい」という白い紙をさげ、神社の鳥居に飾ります。

### ●新宮神社の祭り（10月23日）

かつて、この祭では競馬が行われていました。出馬する馬は、ふだん田で使われている足の太い馬で、騎手は、白い和紙で作られた紋入りの装束をつけ、白雲神社まで行列しました。そこで参拝した後、馬を一頭ずつ走らせ、全部走り終わると、再び行列して新宮神社まで帰りました。

それからいよいよ競馬が始まるのですが、まず、「足見」といって同じくらいの速さの馬をより分け、組み分けします。そして西の端から新宮神社の石段下のしめなわを張った所まで競争しました。これは、大正12、3年ごろまで行われていました。

その後、おみこし・豆ちょうちん・雅楽器などが整えられ、稚児行列・八乙女舞・しし舞などが行われるようになりました。

皆さんも、松ヶ崎の秋祭りを見に行きましょう♪

ガッテン！  
**MATSUGASAKI I**  
第3号